

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」蛭池駅前校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		同時刻に指導員の数の受入なので時間帯や支援の組み合わせ、こどもの特性に合わせてスペースを作っている。	
	②	職員の配置数は適切である	○		指導員の特性や相性・空き時間帯によって調整している。	職員の資格の明記などの要望があったので、教室内に貼り出しや定期刊行の通信などで情報として提供する。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		過度な情報にならないようにシンプルなつくりの環境で障がい特性に合わせて配慮している	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々の清掃や片づけを行い、環境の保全に努めている。	
業務 改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			PDCA サイクルとして明確に動いていない場合も多いので、広く職員同士意識できるように明文化していく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今回のアンケートをもとにすぐに改善できるものと段階が必要なものとに分類化し、業務改善につなげる。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所内で評価結果を周知するとともに、評価・改善内容について会社に集約しホームページにて公開する。

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は現在行っていない。今後必要に応じて検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	会社の発達支援研究所が職員の資質向上のための初任者研修・定例研修を実施している。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している		○	受付シートに記入してもらった後、聞き取りにてアセスメントを行い、体験・支援計画作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	アセスメントシート、NCプログラム、SDQプロフィールでアセスメントを実施している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○		日々の振り返りの中で家族の困りごとの聞き取りや学校等の地域についての聞き取りや進路等のアドバイス、調整し、必要に応じて支援計画にも盛り込んでいるが、支援計画で項目別には設定していない。今後、必要に応じて項目として入れていくことも検討する。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている		○	支援計画に沿って日々の状況に合わせて支援の内容を考えて提供している。	

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	児発管と担当指導員、必要に応じて他の指導員のアドバイスを得て支援プログラムを立てている。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	日々振り返り等で近々の状況を確認し、プログラムに活かしている。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○	個別療育であるが、集団につながるための SST など実施、こどもの状況に応じて不定期に行っている小集団の SST に参加してもらっている。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	朝のミーティングにて必要な連携の確認を行う。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	終了前のミーティングでその日の状況の確認、次の日の必要事項を確認している。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	日々の記録を取り、支援の検証・改善につなげている。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	日々の振り返りに加え、定期的にモニタリングで支援計画について見直しを行っている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			サービス担当者会議がなく、参加の機会がない。体制的には担当者もしくは児発管が参加できるようにしている。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて情報の共有や連携を行っている。		
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					該当者なし
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					該当者なし
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○			連携の姿勢はあるが実施できていない。家族や相談支援機関とうまく連携して実施していきたい。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○			連携の姿勢はあるが実施できていない。家族や相談支援機関とうまく連携して実施していきたい。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			連携の姿勢はあるが実施できていない。家族や相談支援機関とうまく連携して実施していきたい。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○			交流する機会がないので、職員に見学に行ってもらうなど交流と理解を深め、一緒にできる方法があるか探っていく。

	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○			参加できていないので、参加していきたい。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の振り返りの中で共通理解を持っている。		

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		家族へのアドバイスや相談に乗ることはあるが家族支援プログラムとして明確には行っていないため、今後勉強していきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時やモニタリング後に作成した支援計画について説明し同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の振り返りやモニタリング時、必要に応じて時間を取って保護者の相談に応じている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		実施したことはあるが、広く周知されていないため、定期的に機会を作っていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		1～2ヶ月に1回会報を発行し、活動概要や予定、避難訓練や必要と思われる周知事項について定期的に発信していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵のかかる書庫にて管理している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的ツール等活用している。	

	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		○		地域の方が参加できるようなイベントは実施していないが、問い合わせがあればどの方でも来ていただけるようにしている。
非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを準備、いろいろな事案に対する訓練も月に1回程度で行っている。	
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		非常災害に対する定期的な訓練を行っている。	
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントシート等にて確認している。	
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		支援中に食事をとることがない。
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの事例について自事業所の分はもちろん自社提携の事業所の情報も共有している。	
	④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		1年に1回以上研修を行っている。	
	④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」蛸池駅前校

保護者等数（児童数） 9 回収数 4 割合 44 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	2			遊びの中でどのように発達に繋がっているのか目的がよくわからない。	振り返りやモニタリングで丁寧に説明するよう心がけます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		1	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5		1		毎回同じ事を繰り返しているだけで特に課題もない。	現状の支援内容を振り返り検討していきます。また、意義についても説明していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1		1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		1	1	もっと言葉をうながすような支援をしてほしい。	本人の状況を確認しながら働きかける内容について検討していきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	1	2		ほとんど同じことをしている。	こどもの状況に合わせて内容について工夫していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	1		

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	1		1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5	1				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	2	3			
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	2				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	2	1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	4			
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	3				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3		1	2		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか		1	2	3		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3			3		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3		3			
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2		2	2		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1				
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4	1	1			

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。